

第1号様式（第7条関係）

## 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長		平成29年 7月 31日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都港区東新橋1-9-1		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） ソフトバンク株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 宮内 謙
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	東京汐留ビルディング(当社の本社機能)	
導入年月日	2004年 9月 9日	
認証番号	EMS 81966	
基 本 方 針	<p>ソフトバンク株式会社（以下「ソフトバンク」）では、事業を通して地球環境の維持・保全に積極的に取り組み、持続可能な社会の継続的発展に貢献します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当社は、事業活動の推進において、環境保全に関する諸法規およびその他の要求事項を遵守します。</li> <li>・当社は、環境マネジメントシステムにより、事業活動における環境負荷を低減していくため、省エネルギー、省資源、廃棄物削減などについて環境目標を設定し、継続的な改善に努めます。</li> <li>・当社は、事業用機器や物品の調達に当たり、環境にやさしいグリーン調達を推進します。</li> <li>・当社は、環境負荷低減に資するネットワーキング技術の開発やネットワーキングサービスの提供に努め、社会全体の省エネルギー化に貢献します。</li> <li>・当社は、社員への環境教育に努めるとともに、当社の環境に関する情報を社内外へ公表し、コミュニケーションを図ります。</li> </ul>	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	環境に関する社員教育を行う (産業廃棄物処理、フロン管理等の法的知識の向上、エネルギー等の事業知識の向上)	
目標を達成するための取組の内容	全社員を対象とした環境教育(e-learning)の実施	
目標を達成するための取組の進捗状況	2017年2月～3月に実施	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	京都事業所でも取組参加。環境全般の幅広い知識を学べるように、コンテンツ改善し、環境教育を実施した。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令で定められた測定や報告については年間計画として漏れなく実施しています。 これまでに違反や行政当局からの指摘はありませんでした。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	節電運動の結果をトレースし、必要に応じて部分的緩和や強化を行っている。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。